

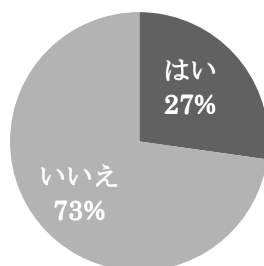
第3回(続報) 障がい者地域医療ネットワークの現状とは？ ～会員アンケート調査からみた現状～

社会局 局長 山川 智之
社会局担当理事 羽田 晋也
調査資料部部长 町田 恒一

以前に、大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業関連記事としまして「第3回障がい者地域医療ネットワークの現状」をご報告いたしました。元となったアンケート調査は、障がい者地域医療ネットワーク協力医療機関の代表理学療法士を対象としておりました。今回は、例年 10 月に実施している会員アンケート調査を通じて、全府士会員を対象としてアンケートを実施した結果をご報告いたします。アンケート回収率、回答会員の構成などにつきましては、ニュース 242 号をご参照ください。

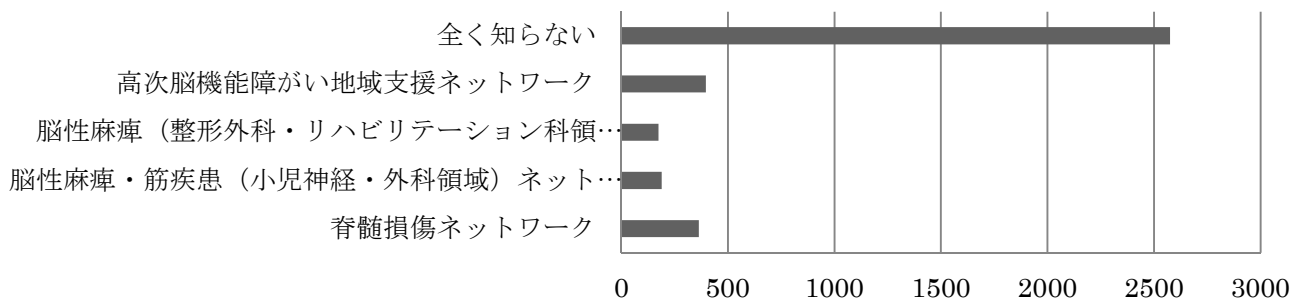
「障がい者が何らかの理由で新たに医療サービスを受けようとした時に、受けづらい状況になった」という経験またはお聞きになったことがありますか？

はい 890
いいえ 2381



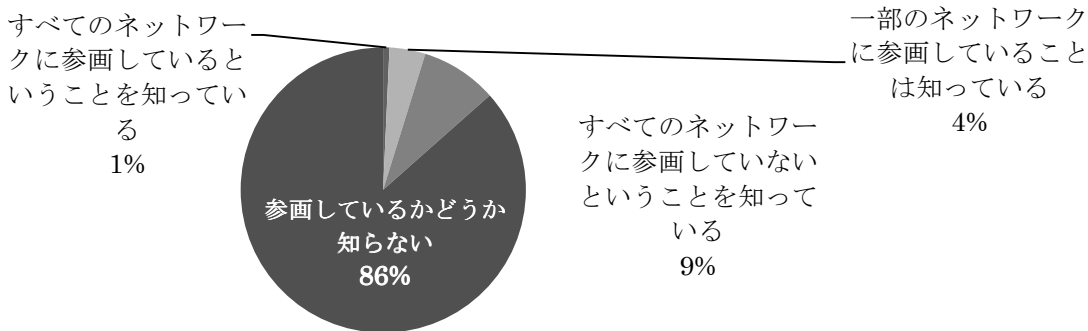
下記のネットワークが存在することをご存知ですか？(複数回答可)

脊髄損傷ネットワーク	364
脳性麻痺・筋疾患(小児神経・外科領域)ネットワーク	189
脳性麻痺(整形外科・リハビリテーション科領域)ネットワーク	175
高次脳機能障がい地域支援ネットワーク	397
全く知らない	2575



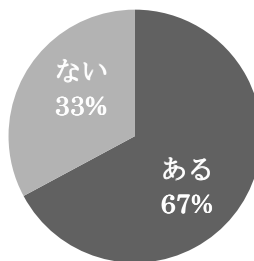
所属している施設が上記ネットワークに参加しているか、ご存知ですか？

すべてのネットワークに参加していることを知っている	23
一部のネットワークに参加していることは知っている	133
すべてのネットワークに参加していないことを知っている	282
参加しているかどうか知らない	2820



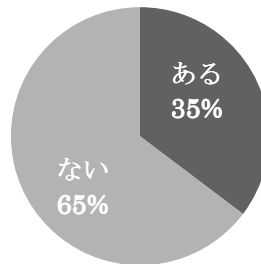
成人脳性麻痺や脊髄損傷の障がい者の理学療法についての経験(ADL 指導も含む)はありますか？

ある	2199
ない	1076



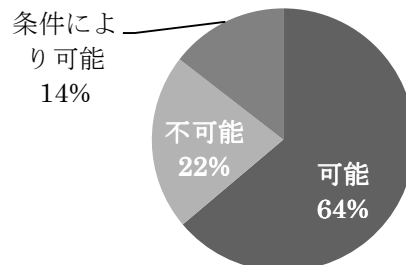
成人脳性麻痺や脊髄損傷の障がいのある方から直接相談を受けたことはありますか？

ある	1153
ない	2113



成人脳性麻痺や脊髄損傷の障がいのある方への理学療法の対応は可能ですか？

可能	2068
不可能	701
条件により可能	470



以上のアンケート結果から、障がい者が医療サービスを受けづらい状況やそういった相談を直接受けたという場面に、会員が遭遇していることも多いということがわかりました。また、会員側の治療経験や受け入れ態勢については、治療経験があるということや対応可能であるということが、共に60%を超えていました。これに関しては、非常に心強い限りであり、アンケートの中の直接記入いただいたご意見からも、皆様の熱い思いが伝わってきました。

このアンケートの実施時点では、障がい者地域医療ネットワークの認知度は低い現状でした。シリーズ第4回・第5回(ニュース242号243号)での、障がい者地域医療ネットワークの紹介によって、会員の皆様に知っていただく機会となったと思います。また、認知度の推移については、今後もアンケート等で継続調査を行いたいと思います。